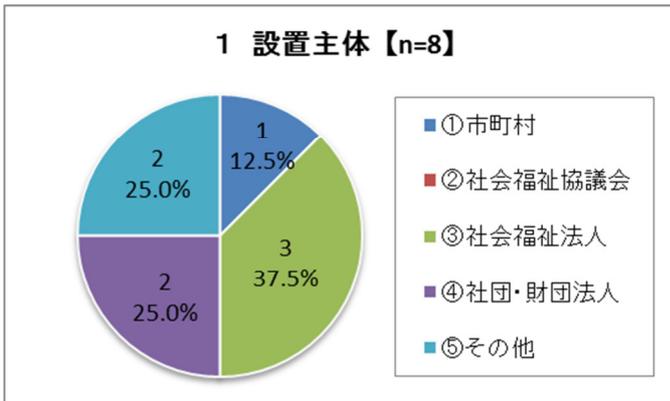


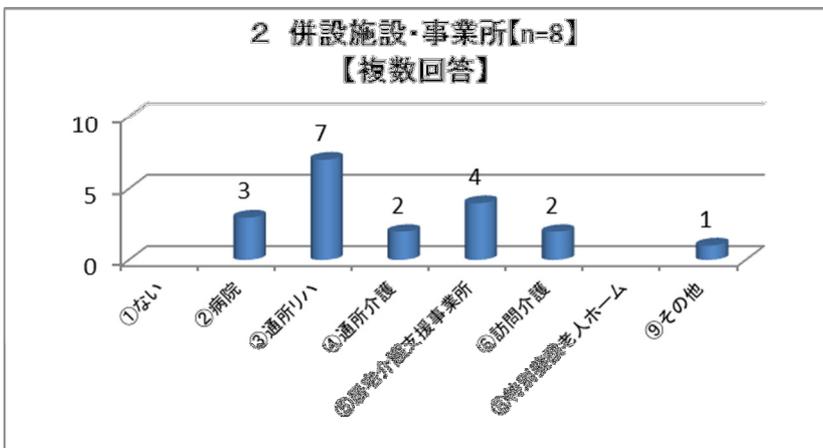
## (8) 老人保健施設 (8カ所)

### 1 事業所の設置主体



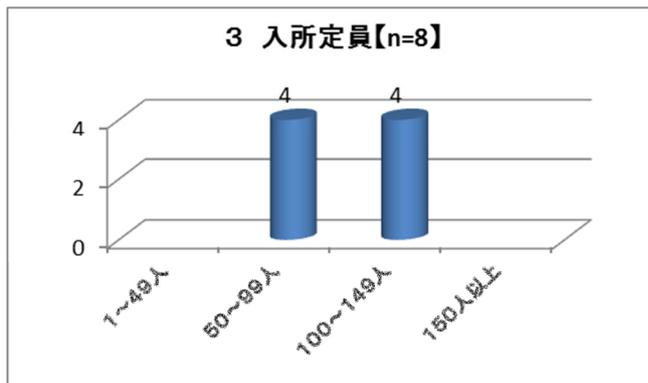
「③社会福祉法人」が3件(37.5%)であった。

### 2 併設施設・併設事業所

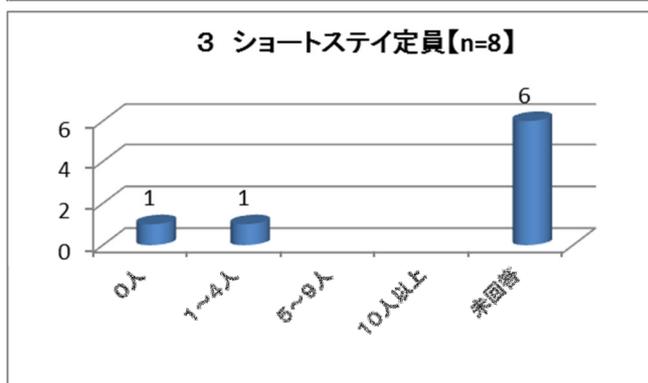


「⑦通所リハ」が7カ所(87.5%)と最も多く、ついで「⑤居宅介護支援事業所」が4カ所(50.0%)であった。

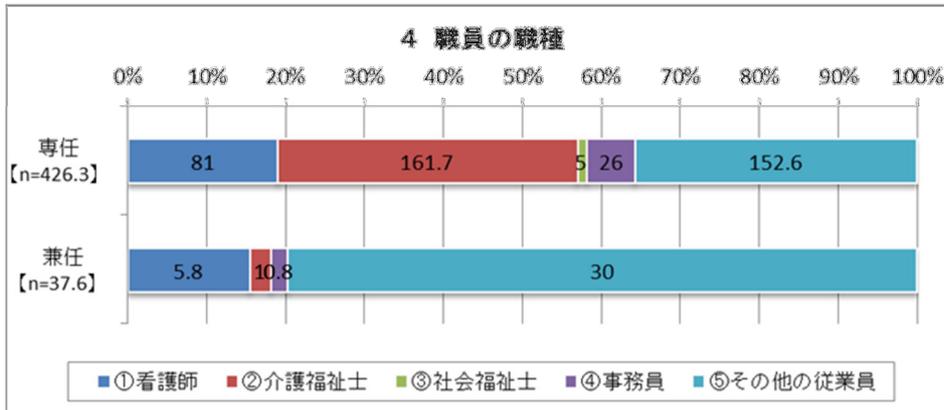
### 3 施設の入所者定員、ショートステイ定員



施設の入所定員は、「50~99人」「100~149人」が、それぞれ4件(50.0%)であった。ショートステイ定員は、未回答が6件あったが、自由記載として「施設入所定員に含む」や「空床利用」の回答があった。

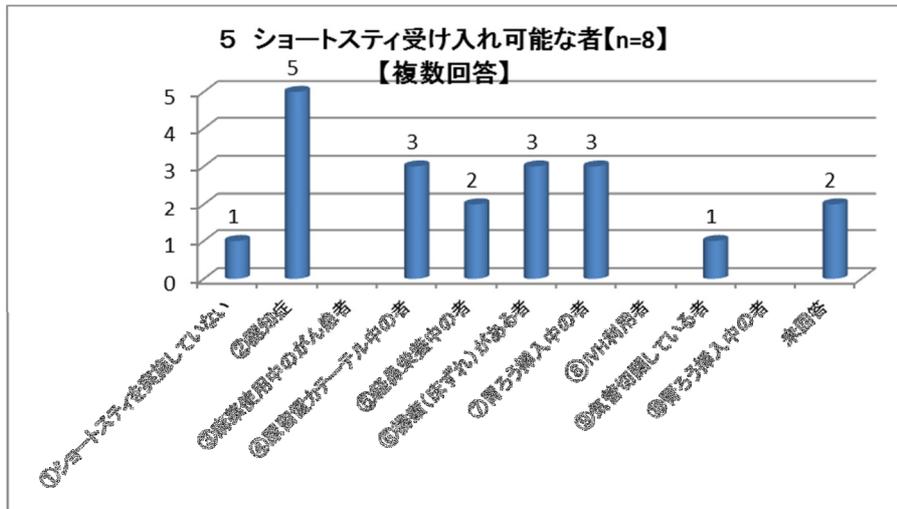


#### 4 職員の職種



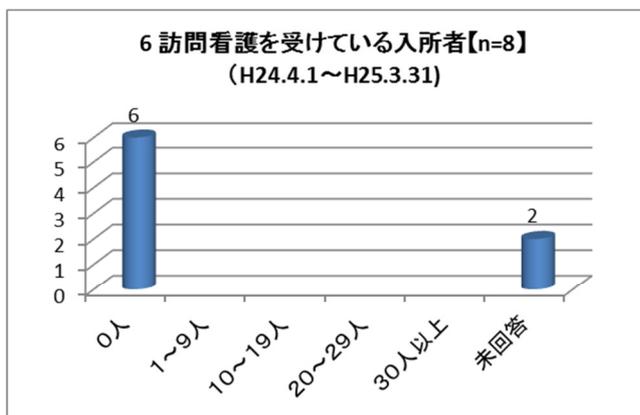
専任では「②介護福祉士」が161.7人(37.9%)、兼任では「①看護師」5.8人(15.4%)が最も多かった。

#### 5 ショートステイ受け入れ可能な者



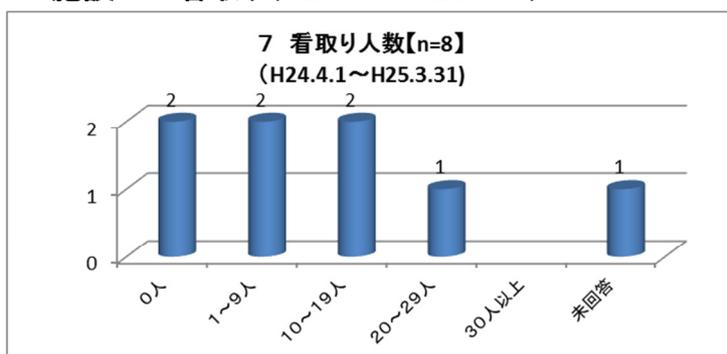
「②認知症」が5件(62.5%)と最も多く、「③麻薬使用中のがん患者」「⑧ICU利用者」「⑩腎ろう挿入中の者」は受け入れ施設がなかった。

#### 6 施設で訪問看護を受けている入所者数(H24.4.1~H25.3.31)



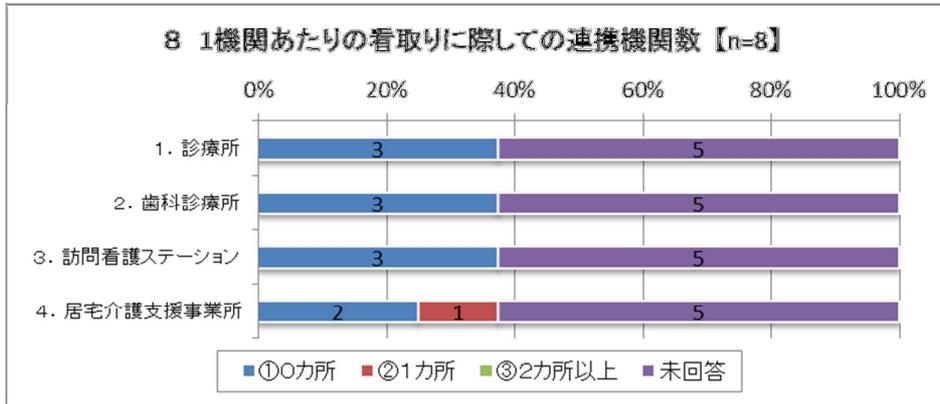
訪問看護を受けている入所者は、「0人」が6件(75.0%)であった。

#### 7 施設での看取り(H24.4.1~H25.3.31)



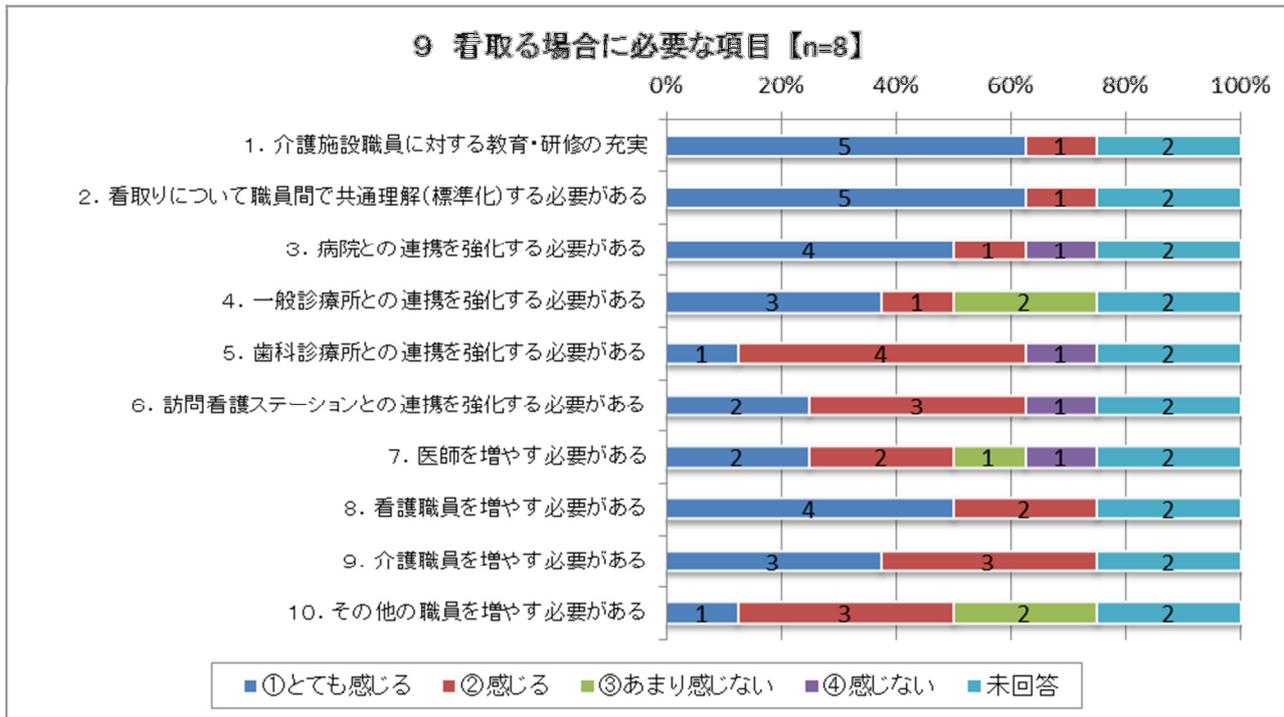
施設で看取りを実施しているのは5件(62.5%)であった。

## 8 看取りに際しての連携機関数



入所者の看取りに際しての連携機関数としては、居宅介護事業所1件のみで、他の施設は他機関との連携はなかった。

## 9 入所者を看取る場合に必要な項目



「1.介護施設職員に対する教育・研修の充実」「2.看取りについて職員間で共通理解(標準化)する必要がある」について、「①とても感じる」がそれぞれ5件(62.5%)と最も多かった。

## 10 在宅医療についてのご意見

当施設は老人保健施設であるため、他のサービスを利用することはできません。そのためターミナル期を迎えた方の対応については、施設の医師、看護師、相談員、介護職員が対応している状況です。

住み慣れた場所で尊厳を守り、その人らしい生活を家族と共に穏やかな時間の流れを感じられる生活が送れるよう医療従事者が手を差し伸べることが大事だと思います。